

～次代へつなく豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2021-上期-

JA佐渡の経営内容



干し柿づくりの様子

プロフィール

設 立	平成5年8月1日
本店所在地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出 資 金	23.8億円
総 資 産	1,235億円
組 合 員 数	15,165人 (正組合員7,158人・准組合員8,007人)
職 員 数	436人
店 舗 数	本店、支店 9店

(令和3年8月31日現在)

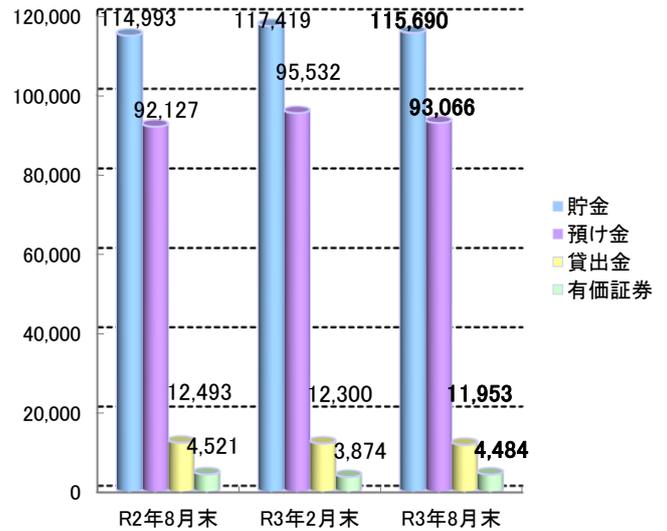
令和3年8月末 J A佐渡の経営状況は次のとおりです。

主要勘定の状況

(単位: 百万円)

	R2年8月末	R3年2月末	R3年8月末
貯金	114,993	117,419	115,690
預け金	92,127	95,532	93,066
貸出金	12,493	12,300	11,953
有価証券	4,521	3,874	4,484

- 貯金残高は、計画比 98.9%、前年比 100.6%となっています。県下統一キャンペーン定期や、コロナ対策としての特例給付金により昨年大幅に増加した個人貯金の残高は、計画比 99.2%、前年比 101.1%となりました。
- 貸出金残高は、計画比 97.6%、前年比 95.7%となっています。自然災害対策を含む農業融資や、住宅ローンを中心に新規実行額は、計画比 87.6%、前年比 139.4%となりました。
- 有価証券は、社債の購入や、受益証券の購入で利益確保に取り組み、計画比 101.7%、前年比 99.1%となっています。

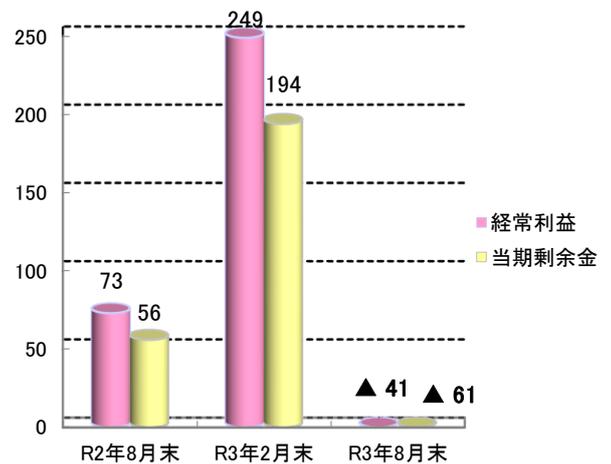


経営収支の状況

(単位: 百万円)

	R2年8月末	R3年2月末	R3年8月末
経常収益	3,603	7,774	3,813
経常費用	3,530	7,525	3,854
経常利益	73	249	▲41
当期剰余金	56	194	▲61
未処分剰余金	68	238	▲14

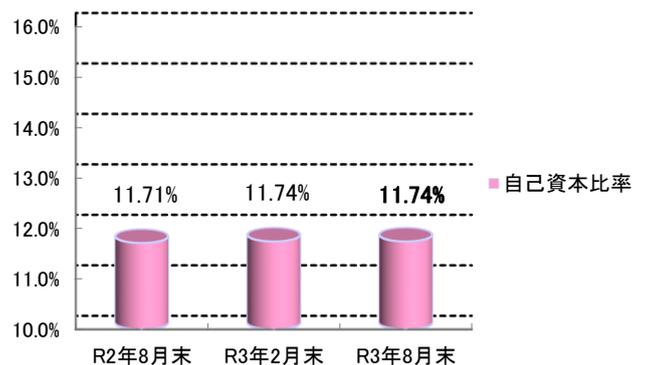
- 令和2年度の事業総利益は前年を48百万円上回る2,793百万円となりました。事業管理費は前年を78百万円下回り、結果として175百万円の事業利益となりました。最終損益は、194百万円の当期剰余金となりました。



単体自己資本比率(推計値)

(単位: 百万円)

	R2年8月末 (推計値)	R3年2月末	R3年8月末 (推計値)
自己資本額(A)	5,643	5,709	5,642
リスク・アセット(B)	48,172	48,610	48,051
自己資本比率 (A) ÷ (B) × 100	11.71%程度	11.74%	11.74%程度



8月末の単体自己資本比率(推計値)は令和3年2月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、8月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット増減額により算出しています。

自己資本比率の算出方法について

○出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウェイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

※リスク・アセットとは…万一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウェイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

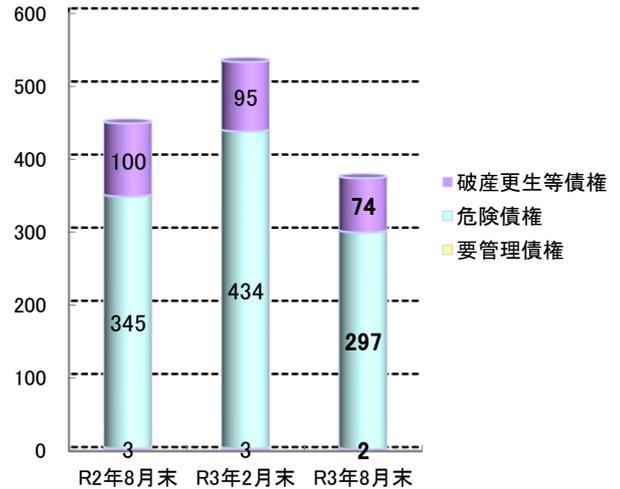
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

不良債権の状況

金融再生法開示債権(法施行規則第4条の規定によるもの)

(単位:百万円)

	R2年8月末	R3年2月末	R3年8月末
破産更生等債権①	100	95	74
危険債権②	345	434	297
要管理債権③	3	3	2
小計(①+②+③=A)	449	534	373
正常債権④	12,311	12,017	11,821
債権額合計(A+④=B)	12,761	12,551	12,195
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	3.51%	4.25%	3.05%



開示債権と保全の状況(令和3年8月末)

当組合では、厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権 (経済債権を含む)		リスク管理債権	
債務者区分	残高A	担保等保全額B	貸倒引当金C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破綻先	5	63	61	100.0%	破産更生等債権	74	破綻先債権	4
実質破綻先	119						延滞債権	366
破綻懸念先	334	146	169	94.3%	危険債権	297	3か月以上延滞債権	-
要注意先	要管理先	7	0	83.3%	要管理債権	2	貸出条件緩和債権	2
	その他要注意先						446	合計
正常先	18,326				正常債権	11,821		
合計	19,240				合計	12,195		

リスク管理債権について

- 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金です。
- 「3か月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3か月以上延滞している貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。

金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

有価証券等時価情報

(単位:百万円)

保有区分	R2年8月末			R3年8月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
その他	4,417	4,420	2	4,440	4,485	45
合計	4,417	4,420	2	4,440	4,485	45

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

地域経済・くらしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「**農業メインバンク**」として社会的責任を担っております。

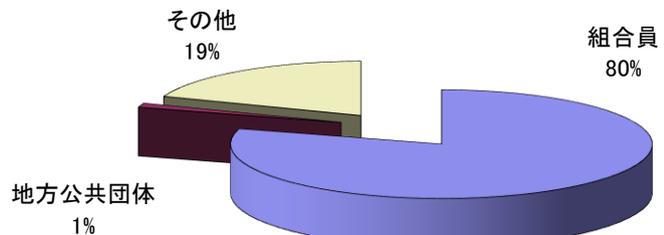
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における「**生活メインバンク**」として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

種類	残高
組合員	91,984
地方公共団体	1,433
その他	22,273
合計	115,690

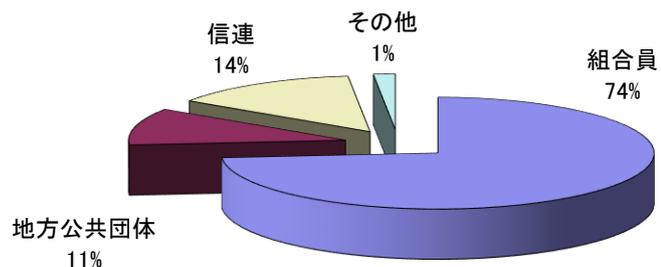


地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種類	残高
組合員	8,800
地方公共団体	1,279
信連	1,680
その他	194
合計	11,953



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてTAC（営農経済渉外）等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。こうした活動を円滑に実施するため「農業経営アドバイザー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟およびJA佐渡独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

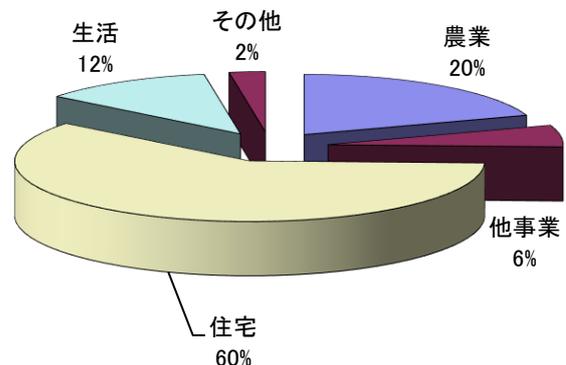
貸出金の資金用途別等の残高

〔貸出金〕

(単位:百万円)

種 類	R2年8月末	R3年8月末
農 業 資 金	1,741	1,778
そ の 他 事 業 資 金	610	521
住 宅 関 連 資 金	5,074	5,406
生 活 関 連 資 金	1,061	1,063
そ の 他	223	223
合 計	8,712	8,994

地方公共団体、信連貸付の残高を除いています。



自己改革の取り組み

国の「農協改革」の動きに対して、JAグループ独自に「自己改革」を設定し組織を挙げて取り組むことを決定し、当JAも第9次中期3カ年計画（2019年度～2021年度）に独自の自己改革を織り込み、3年目となる今年度は計画の達成と成果が求められる年度となります。今年度上期の状況について関連する主な取り組みを中心に報告します。

◆農業振興等に関する取り組み

水稻では、産地間競争が厳しさを増す中、1等米比率90%の必達と日本穀物検定協会の「特A」評価の復活に向けて令和3年6月に「おいしい佐渡米研究会」を立ち上げました。行政や関係機関、JA羽茂、JA佐渡が一体となって「おいしさ」と「みばえ」を兼ね備えた佐渡米の生産体制確立に向けて取り組みを開始しています。

園芸では、アスパラガスについては、共同選果を昨年より本格的に実施していることから、品質評価は上がっており、販売高の実績は前年比160%超となりました。直売については、新鮮空間よらんか舎を中心に野菜・果物の出荷が順調に伸びています。イベント等による集客向上や栽培研修の実施等により品質も安定しています。また、水稻育苗ハウスを利用した「シャインマスカット」、小木・赤泊地区が中心の「みかん」の栽培については、生産者数が増加していますが、園芸作物全体としては生産拡大による安定販売が課題となっています。

畜産では、CBS（大型和牛繁殖支援施設）を含め、佐渡産和牛生産の拡大を目標に生産された子牛が高千家畜市場へ221頭上場しました。昨年より高い価格で取引され、肥育評価も上々で今後も上場頭数は増える見込みです。

◆経営改善の取り組み

長引く低金利により運用環境は悪化し今後も信用事業利益は減少する見通しです。そうした状況の中、経営の合理化・効率化を目的に令和4年から3支店を金融センターとする金融店舗の再編を決定しました。今後、経済事業の収支改善を中心に検討を行い、経営改善の取り組みを進めていきます。

◆組織基盤強化の取り組み

正組合員数が減少する一方、准組合員は増加しています。ホームページやメール配信による情報提供を行いながら引き続き組合員加入推進を進め、准組合員へのアンケートや懇談を通じ、ニーズの把握に努めながら事業利用拡大につなげます。

これからも地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

- ◇Aコープ店 : 食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。
- ◇農産物直売所 : JA直営直売所「新鮮空間 や ょらんか舎」と「菜 せい 菜きて屋まの」、Aコープ各店でのインショップ方式による産直コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。
- ◇セレモニーホール: 増加するホール葬需要に応えるために、グループ会社の運営により島内2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。
- ◇セルフスタンド : 本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内3か所に設けております。



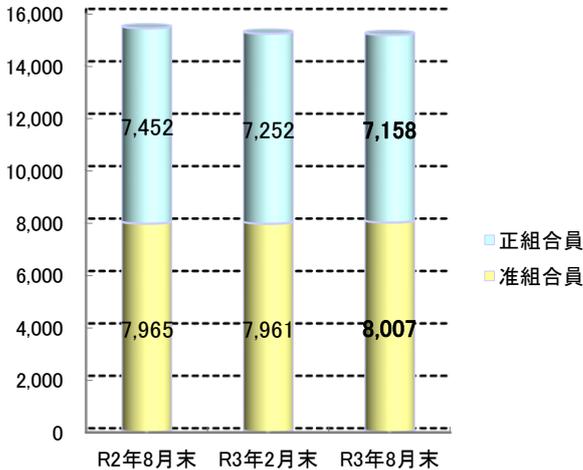
写真：農産物直売所「新鮮空間よらんか舎」

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでおります。

組合員数の推移

(単位: 組合員数)

	R2年8月末	R3年2月末	R3年8月末
正組合員	7,452	7,252	7,158
准組合員	7,965	7,961	8,007
組合員計	15,417	15,213	15,165



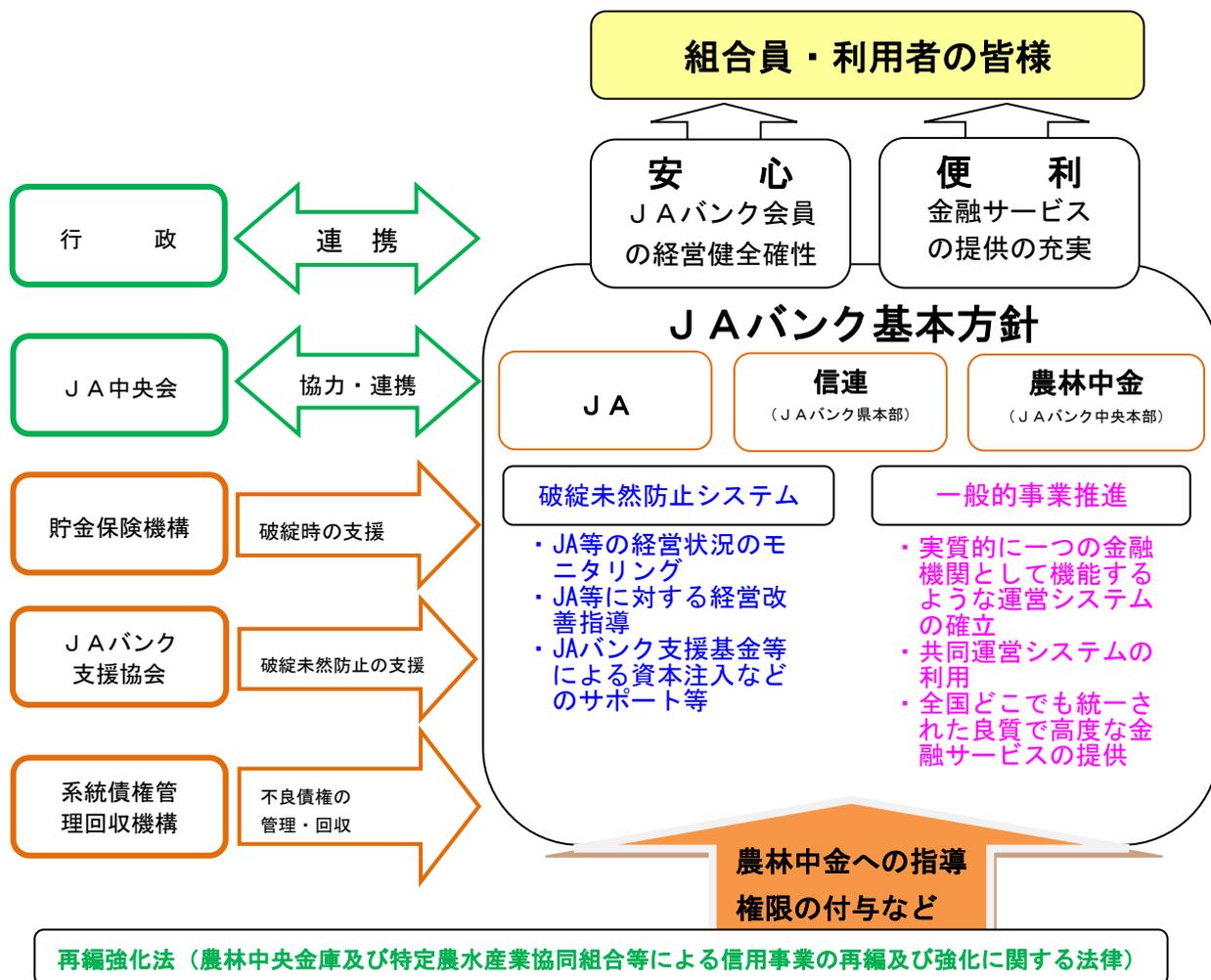
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみならず便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



JAバンク・セーフティーネット

破綻未然防止システム

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

+

貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>

JA佐渡

検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。